

# 此方×彼方 高木 智広展

konata × kanata / Takagi Tomohiro Exhibition

2013年10月29日[火] — 11月10日[日] 11:00～19:00 \*月曜休廊・金曜日20:00まで、最終日18:00まで

## ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年10月29日[火]から11月10日[日]まで、「此方×彼方:高木智広」を開催いたします。

高木智広(たかぎ・ともひろ/岐阜・1972～)は、1992年に武蔵野美術大学短期大学部美術科卒業後、1997年より京都に在住し、これまで京都・東京を中心に発表を続けてきました。

幼少期から動物図鑑を模写するほどの動物好きであり、それらを育む自然にも親しんだ高木は、1994年にパプアニューギニアを旅し、自然の一部として暮らす人々に触れた際に「現代社会がいかにも自然と無縁なものか」痛切に感じたと言います。そこでの自然が人間の営みをも含む「同一」のものであったのに対し、「人間と自然」という関係は「分断」された私たちの暮らしを顧み、そこに「人間」が「自然」を支配・管理する傲慢さをも感じた高木は、以後に自然と人間との関係を強く意識した作品制作に取り組みます。

動物の着ぐるみを纏った少年少女。人間よりも遥かに巨大な動物達。地面に突き刺さり、森となったカワセミ。都会の裏路地を彷徨うカエルや空を飛ぶ平等院鳳凰堂。その画面上には人間と自然がそれぞれ擬人化(あるいは擬態化)されて混じり合ったかのような世界が、コミカルに、ユーモラスに、時にシニカルに描き出されています。それはまるで「人」と「自然」に分たれた世界の境界の物語のようであり、高木の想像する自然のみならず、空想や夢想が織り重なり、地霊や精霊、果ては妖怪やモノケまでもが「綯い交ぜ」となった光景が描き出されています。

「此方×彼方」(コナタ:カナタ)と題された本展では、会場内に高木のつくりだす絵画とともに「綯い交ぜ」の世界が出現します。

何かを分つ境界線といった明らかなものは無いままに、しかし「こちら」と「あちら」が存在する、不可思議な空間をお楽しみください。



【広報画像01】

IKKAK

# 此方×彼方 高木 智広展

konata × kanata / Takagi Tomohiro Exhibition

2013年10月29日[火] — 11月10日[日] 11:00～19:00 \*月曜休廊・金曜日20:00まで、最終日18:00まで



【広報画像02】

宇治 金ノ時

2012 油彩

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com) 迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 此方×彼方 高木智広展

出品作家 高木 智広(たかぎ・ともひろ) <http://www.art.zaq.jp/hellowind/>

会期 2013年10月29日[火] — 11月10日(日) 11:00～19:00 ※月曜休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【絵画】 鶴、妖怪、モノノケなどを彷彿とさせる不可思議な絵画制作を続ける高木智広による個展。新作・旧作を含む10点あまりを展示。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

# 此方×彼方 高木 智広展

konata × kanata / Takagi Tomohiro Exhibition

2013年10月29日[火] — 11月10日[日] 11:00～19:00 \*月曜休廊・金曜日20:00まで、最終日18:00まで

## 【展覧会について】

私は、様々な境界を意識して制作してきた。

自然と人間、生と死、現実と非現実。

それらは一見乖離しているようでありながら、互いに地続きである。

人間が自然を抑制しようとしても、

やはり人間は自然の一部として、

自然に生かされ、

自然に翻弄される。

生と死は、陰と陽のように分離不能であり、

生きることは死ぬことでもある。

私は現実と非現実が混ざりあった風景を見ている。

その時、私は境界に立っている。

この展覧会では私の作品を、

此方から、

彼方から、

その狭間から、

眺めたい。

眺めていただきたい。

高木 智広



【広報画像03】

落鳥の森 wood of fallen birds

2011年 油彩 194×130cm

グループ展「溶ける魚」展示風景

京都精華大学ギャラリーフーロール(京都)

# 此方×彼方 高木 智広展

konata × kanata / Takagi Tomohiro Exhibition

2013年10月29日[火] — 11月10日[日] 11:00~19:00 \*月曜休廊・金曜日20:00まで、最終日18:00まで



【広報画像04】

## FUKUMENZ

油彩 146×45cm ×3piece



## 高木 智広 Tomohiro Takagi

<http://www.art.zaq.jp/hellowind/>

- 1972 岐阜に生まれる  
幼少より動物と育ち、よく動物図鑑を模写する
- 1992 武蔵野美術大学 短期大学部美術科卒
- 1993 ニューヨーク滞在
- 1994 パプアニューギニアを旅し、原始の生活をおくる人々に触れる現代社会がいかに自然と無縁なものか痛感する
- 1995 フランスへ渡る。今までなんとなく用いてきた油彩の技法への無知さを知り、油彩画の原点であるフランドルの古典技法を研究する
- 1996 パリ自然史博物館にて動物骨格の研究。動物画を多く制作する
- 1997 帰国 京都在住
- 1998 個展「STILL LIFE」/ギャラリーエス(東京)
- 2000 二人展「FALL TO THE HOLE」/ギャラリーエス(東京)
- 2001 日本各地の遊園地のお化け屋敷を取材、その造形人形を百点描いた「百鬼営業」を制作
- 2002 グループ展「JET」/ギャラリーそわか(京都)、ギャラリーエス(東京)
- 2004 個展「ユーレイ雲」/ギャラリーそわか(京都)
- 2006 個展「ヒトが演じる動物園」/なびす画廊(東京)
- 2009 個展「ODD EYES, SLEEPING」/ unseal contemporary(東京)
- 2010 第29回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展  
個展「FUR,AWAY」/ elsa art gallery(台北)
- 2011 グループ展「激凸展」を企画、出展 / unseal contemporary(東京)  
個展 「落鳥の森」/ unseal contemporary(東京)
- 2012 第15回 岡本太郎現代芸術賞入選  
TOKYO LOVE SHOW / 表参道ヒルズ(東京)
- 2013 グループ展「溶ける魚」を企画 / gallery PARC、京都精華大学ギャラリーフロール(京都)

